先進的な農業者による実地指導
募集要項

スマート農業イノベーション推進会議（IPCSA）事務局

IPCSA
スマート農業イノベーション推進会議
Innovation Promotion Conference for Smart Agriculture

目次

- 取組の趣旨・目的
- 取組概要
- 実施イメージ
- 応募要件
- 指導者要件
- 補助対象経費
- 運営ルール、守秘義務・知財の取扱い
- 応募の流れ・スケジュール

  （参考）応募フォーム 記載項目

  （参考）応募要件の確認観点

  （参考）実施報告書 提出方法・記載項目
- 問い合わせ

取組の趣旨・目的

スマート農業イノベーション推進会議（以下、IPCSA）の活動にあたり、日頃よりご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
IPCSAは、スマート農業技術の開発と普及を推進するため、情報の収集・共有・発信、関係者間のマッチング、人材育成、技術的な検討等の様々な活動を行っております。

本年度、IPCSAでは、人材育成の一環として「スマート農業技術の導入や経営改善を目指す農業者が、先進的な農業者（以下、先進農業者）から実地指導を受ける取組」のモデル事例形成に向けた取組を実施します。
実地指導は、先進農業者を圃場に招いて、応募者が抱える課題や実現したいことに応じて「スマート農業技術の選定・導入・活用方法」や「経営改善の成果へのつなげ方」等について直接指導を受けるものです。
また、本取組では、実地指導を通じて得られた知見や成果を整理し、他の農業者・産地にも参考となる形で共有することを目指しています。そのため、応募者の皆様には、IPCSAが行う情報発信へのご協力に加え、ご自身でも、地域や産地の仲間をはじめ、広く生産者の方々に取組内容を共有していただくようお願いします。
こうした趣旨に沿った取組をモデル事例とし、必要な経費の一部をIPCSAが負担いたします。

ご関心のあるIPCSA会員の皆様は、ぜひ積極的なご活用をご検討ください。

取組概要

本年度IPCSAは、スマート農業技術の導入や活用を検討する農業者が、先進農業者による実地指導を受け、その成果が広く波及していくモデル事例の形成に取組みます。

取組概要

■実地指導 概要
- 応募者（指導を受ける側）が、先進農業者（指導する側、指導者）から実地指導を受ける
- 原則、応募者の圃場にて実施する
- スマート農業技術を活用している先進農業者から直接指導を受けることで、応募者の課題解決や技術導入・経営改善を図る
- 取組の結果は広く共有することを想定し、他の生産現場での導入判断のヒントとなる取組に対して、必要な経費の一部をIPCSAが負担する
（応募者は、実施前に計画書、実施後に報告書を提出する）

■留意事項
- 特定企業の機器・サービスの販売促進を目的とする取組は対象外
（応募時に、指導内容が「特定製品の販売・営農活動を主目的とする」と判断された場合は、対象外となる）
- 本年度は計3件程度の選定を予定
（応募者多数の場合は、事務局による選定を行う）

■テーマ

以下項目から少なくとも 1 項目以上をテーマとして選択する

① スマート農業技術導入に向けた検討（現状分析・導入効果の試算・導入方法の検討）
② 導入したスマート農業技術の効果的・効率的な活用方法の検討
③ 圃場毎の投下労働時間や資材投入量、生育・収量等の各種経営データに基づく経営改善

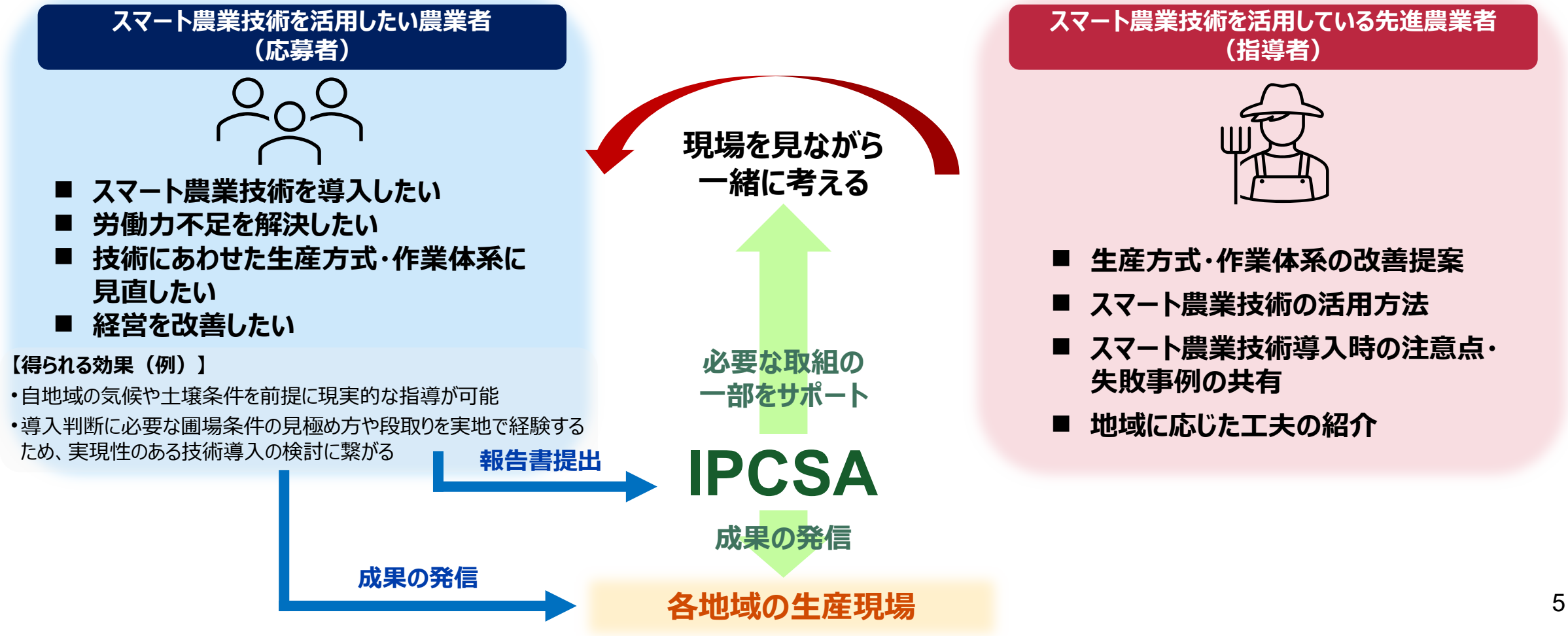
■営農類型

以下から1項目を指導対象となる営農類型として選択する

- 水田作
- 畑作
- 露地野菜・花き作
- 施設野菜・花き作
- 果樹・茶作
- 畜産・酪農

実施イメージ

本取組では、「スマート農業技術の導入ノウハウ」や「経営改善の成果への繋げ方」等を学びを得るため、指導者を圃場に招いて現場を見ながら指導・助言を受けるスタイルを対象とします。（指導者現地で実施されなければ効果が見込めない特段の理由がある場合には、この限りではありません）。他の生産現場における導入事例の参考とするため、実地指導を通して得られた気づき・学び等を報告書としてまとめ、IPCSA等を通じて広く発信していただきます。



応募要件

本取組では、下記の要件を満たす場合にご応募いただくことが可能です。

項目	要件
募集対象	• IPCSA会員（少なくとも応募者がIPCSA会員であること） • 実地指導を受けることを希望する現役の農業従事者 ※個人・法人・集落営農・新規就農者などは問いません ※地域展開や技術普及を目的として、普及指導員、JA職員、自治体職員、研究機関職員等が農業従事者を取りまとめて応募主体となったり、同行参加したりすることを妨げることはありません
応募者に求める要件	• スマート農業技術や先進事例を学び、自らの経営や生産現場の改善に活かす意欲があること • 指導内容が応募者の課題に適しており、経営改善や技術導入につながることが期待できること • 指導を通じて得られる知見が、他の農業者や産地にとっても参考となることが期待できること • 実施時期や人員配置が現実的であり、指導内容を実行できる体制が整っていること • 計画・報告書の提出や成果公表など、事業運営や情報発信に協力できること ※IPCSAウェブサイトへの事例掲載の際、掲載内容は事務局から応募者に事前確認を行います
対応いただく事項	• 主体的な学びの姿勢と事前準備（質問事項・課題の整理） • 学んだノウハウを踏まえた自経営への適用・アクションプラン検討（技術導入・経営見直し等） • 指導終了後の状況報告への協力

指導者要件

指導者は「自らの経験や知見を活用し、応募者が抱える課題の解決や目標の達成を支援する者」とし、課題解決や実践的な知見の共有を行います。原則農業者とし、スマート農業技術の導入や生産方式改革の実践経験を有することが求められます。

指導者の属性・役割

■指導者の選定

本取組における指導者については、応募者が事前に自身で選定・合意を取った上で応募する
（自身での指導者の選定・依頼が困難な場合は事務局まで相談可能）

■指導者の属性

指導者は原則農業者とする
※ただし、農業経営の実態を理解し、現場に即した十分な指導実績が認められる場合に限り、以下の者も指導者として認めます

- 公的機関（独法、地独を含む）で営農指導に従事する専門家
- 農業法人の技術顧問

■指導者の役割

（1）課題解決支援
応募者の課題を整理し、技術導入・栽培管理・経営改善・作業体系の見直し等の観点から助言・指導を行う
（2）実践的な知見の共有
成功事例だけでなく、導入時の苦労・課題、組織内調整、費用対効果なども含めた実践的な知見を共有する

指導者に求められる要件

■指導者に求められる要件

指導者は、自らの経験や知見を活用し、応募者が抱える課題の解決や目標の達成を支援する者とし、単にスマート農業技術を導入していることのみを要件とするのではなく、下記を重視する

- 応募者の目的を加味した指導ができること
- 課題に即した助言・支援を提供できること
- 実践的な経験に基づく知見を有すること

■指導者として望ましい経験

指導者は以下のいずれかの経験を有することが望ましい

- スマート農業技術の導入経験
- 生産方式改革の実践経験
- 省力化・効率化の実現経験
- 経営改善・収益向上の実績
- 他の農業者への指導実績　など

※上記の経験を有していない場合でも、要件に合致すると判断される場合は、指導者となり得ます

補助対象経費

本取組については、1件あたり 30万円（税込）を上限に実地指導に必要な経費をIPCSA事務局が負担します。
補助経費は、主に指導者の交通費・宿泊費・謝金が対象となります。

補助額・精算方法

項目	内容
補助額	•1件あたり 30万円（税込）を上限に実地指導に必要な経費をIPCSA事務局が負担 •上限超過分は応募者の自己負担
精算方法	•原則として事務局による精算支払 （領収書原本を事務局へ提出いただき精算）

補助対象経費

経費区分	補助対象	備考
指導者の交通費	○	実費精算
指導者の宿泊費	○	IPCSA規定に従い 地域に応じた上限あり
指導者への謝金	○	3万円（税抜）/件 （IPCSA規定単価）
消耗品費・会場借料費	△	必要に応じて精算可 （事務局と要相談）
機材・備品の購入費	×	対象外
資料作成費	×	対象外
飲食費・懇親会費	×	対象外

※例外として、応募者が指導者現地に行って実施する必要がある場合は、
応募者の交通費・宿泊費も補助対象となります

運営ルール、守秘義務・知財の取扱い

指導を受ける上で、下記運営ルール、守秘義務・知財の取扱いの遵守をお願いします。

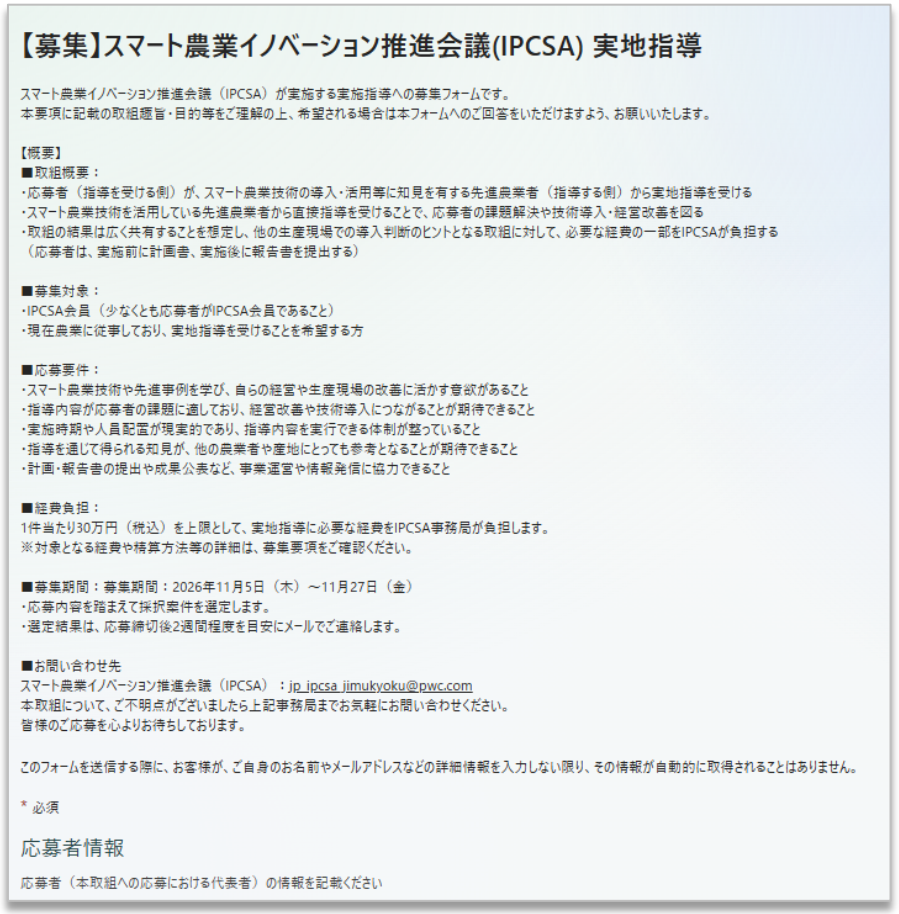
運営ルール、守秘義務・知財の取扱い

キャンセル・日程変更	• 選定後の自己都合による辞退は速やかに事務局へ連絡する • 天候・災害等の不可抗力による実地指導中止の場合、事務局まで早急に連絡する ※日程を変更する場合、発生済み実費はIPCSAが負担することも検討します
写真・映像の取扱	• 実地指導当日事務局メンバーが一部参加し、写真・動画撮影を行う場合がある ※撮影物は事業報告・広報物（Web・SNS・パンフレット等）に使用する可能性がありますので、顔写真の掲載を控えたい等のご希望は応募時に事務局まで相談ください
守秘義務等	• 参加者・指導者間で共有された情報・知財等の取り扱いについては、必要に応じて当事者間で書面合意をいただく ※秘密保持（NDA）、覚書等のひな形が必要な場合は、事務局まで相談ください

応募の流れ・スケジュール

本要項に記載の取組趣旨・目的等をご理解の上、希望される場合は「応募フォーム」へのご回答をいただけますよう、お願いいたします。

応募	• 応募フォームURL：実地指導応募フォーム （具体的な設問項目は「P11.応募フォーム 記載項目」を参照） 応募フォーム回答締切：2026年11月27日（金）17時まで
スケジュール	• 募集期間：2026年11月5日（木）～11月27日（金） • 選定結果は応募締切後、約2週間以内にメールで通知 ※指導実施時期は応募者・指導者側にて調整ください ※ただし、選定連絡までの時間や手続きに係る期間を加味した実施時期をご検討ください （2027年2月半ばくらいまでの実施完了を目途にご計画ください） ※募集期間内でのご応募が難しい場合は、事務局までご相談ください
注意事項	• IPCSA未会員の方は、応募前に[会員登録ページ]から登録が必要 • 同一の応募者・指導者の組合わせは年度内1回までの応募が可能



【募集】スマート農業イノベーション推進会議(IPCSA) 実地指導

スマート農業イノベーション推進会議（IPCSA）が実施する実施指導への募集フォームです。
本要項に記載の取組趣旨・目的等をご理解の上、希望される場合は本フォームへのご回答をいただけますよう、お願いいたします。

【概要】
■取組概要：
・応募者（指導を受ける側）が、スマート農業技術の導入・活用等に知見を有する先進農業者（指導する側）から実地指導を受ける
・スマート農業技術を活用している先進農業者から直接指導を受けることで、応募者の課題解決や技術導入・経営改善を図る
・取組の結果は広く共有することを想定し、他の生産現場での導入判断のヒントとなる取組に対して、必要な経費の一部をIPCSAが負担する
（応募者は、実施前に計画書、実施後に報告書を提出する）

■募集対象：
・IPCSA会員（少なくとも応募者がIPCSA会員であること）
・現在農業に従事しており、実地指導を受けることを希望する方

■応募要件：
・スマート農業技術や先進事例を学び、自らの経営や生産現場の改善に活かす意欲があること
・指導内容が応募者の課題に適しており、経営改善や技術導入につながることが期待できること
・実施時期や人員配置が現実的であり、指導内容を実行できる体制が整っていること
・指導を通じて得られる知見が、他の農業者や産地にとっても参考となることが期待できること
・計画・報告書の提出や成果公表など、事業運営や情報発信に協力できること

■経費負担：
1件当たり30万円（税込）を上限として、実地指導に必要な経費をIPCSA事務局が負担します。
※対象となる経費や精算方法等の詳細は、募集要項をご確認ください。

■募集期間：募集期間：2026年11月5日（木）～11月27日（金）
・応募内容を踏まえて採択案件を選定します。
・選定結果は、応募締切後2週間程度を目安にメールでご連絡します。

■お問い合わせ先
スマート農業イノベーション推進会議（IPCSA）：jp_ipcsa_jimukyoku@pwc.com
本取組について、ご不明点がございましたら上記事務局までお気軽にお問い合わせください。
皆様のご応募を心よりお待ちしております。

このフォームを送信する際に、お客様が、ご自身のお名前やメールアドレスなどの詳細情報を入力しない限り、その情報が自動的に取得されることはありません。

* 必須

応募者情報

応募者（本取組への応募における代表者）の情報を記載ください

（参考）応募フォーム 記載項目

応募フォームは下記の項目から構成されています。
本要領に記載の実地指導の趣旨・目的等をご理解の上、希望される場合は、「応募フォーム」へのご回答をお願いします。

応募者情報	実地指導を通じて取組みたい内容	指導者情報	その他・事務局連絡
設問1～8	設問9～14	設問15～23	設問24
• 氏名 • メールアドレス • 電話番号 • 住所 • 所属先（企業・団体名） • 所属先のWebサイトURL • その他の参加者情報 • 募集対象への該当	• テーマ • 営農類型 • 解決したい現場課題 • 課題解決により得られる成果 • 成果が他農業者・産地にとって参考になる点 • 補助を想定する経費	• 指導者の紹介要否 【指導者紹介不要の場合】 • 指導者の所属先（企業・団体名） • 指導者の氏名 • 指導者のメールアドレス • 指導者の選定理由 • 期待する指導内容 • 合意取得状況 【指導者紹介要の場合】 • 希望する指導者の条件 • 期待する指導内容	• 本取組に関する要望、事務局への伝達事項

（参考）応募要件の確認観点

提出いただいた応募フォームをもとに、下記の観点から応募要件を満たすかどうかを確認を行います。

観点	各観点の詳細
取組意欲・改善意欲	• スマート農業技術の導入や活用改善に関心を有し、実地指導を通じて導入・活用について学ぶ意欲があること • 指導を通じて学んだ内容を、自経営の改善に活かす意欲があること
取組の適格性	• 導入を想定する技術や受ける指導によって、課題解決や経営改善に資することが期待されるものであること
成果の波及性	• 他の農業者にとっても参考となる知見が得られることが期待できること
実施体制・実行可能性	• 実施時期や体制が現実的であり、実地指導を円滑に実施できる見込みがあること • 指導内容を実行できる体制・条件が整っているか
事業への協力	• 実施計画・実施報告書（記載項目イメージはP13参照）の提出および事務局とのやり取りが遅滞なく行えること • 実施結果の公表や情報発信に協力すること

（参考）実施報告書 提出方法・記載項目

指導実施後は、下記の項目に沿って実施報告書の提出をお願いします。
報告書では、当日の実施内容のほか、得られたこと・学び、今後のアクションプランへの落とし込みを記載いただきます。

提出方法

報告書提出	• 提出期限：実地指導終了後30日以内 • 様式：事務局指定フォーマット（A4 4枚程度） （当日の写真・動画も提出） （フォーマットは事務局より後日送付） • 提出先：事務局メールアドレス
報告書 記載項目	• 右記参照
事後フォロー	• 指導終了後の状況報告への協力 • 希望者は事務局より継続的にサポート・相談をすることも可能

記載項目

① 実施内容	• 実施日時・場所・指導者、指導の具体的な内容 • 現地での活動を詳細に列挙し、何が行われたか など
② 得られた成果・学び	• 参加者自身が研修を通じて得た知見・技術や気づき • 実地指導で新たに理解した要点、実地指導前後で自身が思考を巡らせることで気が付いたこと など
③ 今後に向けた課題・アクションプラン	• 実地指導での学びを踏まえて見えた課題 • 今後の技術導入、農業経営にどのように学びを活かすか、学んだ知識や技術を何を・いつ・どのように試すか、その先の期待成果など、具体的なアクションプラン

※報告書とは別に、本取組に感想・意見（改善提案・要望含め）のアンケート回答をお願いする予定です
※指導者にも簡易的なアンケートを回答をお願いする予定です

問い合わせ

【問合せ先】

スマート農業イノベーション推進会議（IPCSA）事務局

E-mail: jp_ipcsa_jimukyoku@pwc.com

本取組について、ご不明点がございましたら
上記事務局までお気軽にお問い合わせください。

皆様のご応募を心よりお待ちしております。